



# 海老沼小だより

～ かしこく やさしく たくましく生き抜く子  
笑顔と歌声あふれる学校 ～

3月号

令和4年3月1日

さいたま市立海老沼小学校



消えた火の見やぐら

さようなら ありがとう

校長 宮本 江津子

雪が2回も降り、とつても寒かった今年の冬も、ようやく過ぎ去ろうとしています。やっとあたたかい春の風を感じるようになってきました。1年生が植えたチューリップの芽がたくさん出て来ていて、春がすぐそこまでやってきました。いよいよ今年度も終わりの時期が近づいてきました。

3学期が始まり、1週間たった頃から、本校の子ども達にも、コロナの波が押し寄せて来てしまい、学級閉鎖、そして学校閉鎖にまで追い込まれました。学校閉鎖を明けてからは、ピーク時のような陽性者の報告は、なくなりました。そこで、学年のまとめの月の始まりでもある本日より、対面での授業を始めることといたしました。学級閉鎖、学校閉鎖中のオンライン授業にご協力いただき、ありがとうございました。この後、1年間のまとめを、教室で子どもたちと顔を合わせて行っていきます。学年の最後となる授業参観や懇談会も中止せざるを得ない状況だったことは、本当に悔やまれます。(6年生だけは、懇談会のみ実施の予定です)今年度の担任から、顔を合わせて最後のご挨拶ができなかったこと、誠に申し訳なく思っております。まだまだ、油断はできない状況ではありますが、残された日々を、子ども達と共に、思い出に残る時間となるよう過ごしてまいります。

そして、いよいよ小学校の卒業を迎える6年生。館岩自然の教室に行くことができなかった学年です。でも、今年は、修学旅行に行くことができました。バスの中ではレクはできなかったけれど、やっぱり、友達と過ごした夜は、楽しいひと時となったようです。『6年生を送る会』も、体育館に集まって実施することはできませんが、スタジオから5年生計画委員が中心となり、録画した各学年の出し物を鑑賞したり、スタジオからの映像を見たりしながら、卒業直前の18日に会を行う予定です。『感謝する会』も保護者の方の前で披露することができず、大変残念ですが、懇談会の折に、映像を鑑賞していただく用意をしております。たくさんの制限がある中ですが、自分の思いを自由に素直に表現することができる6年生。この小学生の最後の2年間を忘れることはないと思います。自分達で工夫しながら、何ができるか考えることも得意です。この時期を乗り越え、すべての制限が解除された時に、ますます大きく自由に羽ばたくことができると期待しています。(卒業式で、自慢の歌声を、今年も披露できないことは、歌が大好きな私としても、本当に残念で心残りです)

さて・・・ここで宣伝です！海老沼小学校の紹介がREDS WAVE(87.3FM)「さいたま市未来くる(みらくる)FM放送局」にて放送されます。本校の放送委員会児童がアナウンスをつとめ、学校の紹介や話題を『えびラジ』風(毎日お昼の放送で流れているものです)に、公共の電波にのせてお送りします。放送日は、3月6日(日)12時29分からです。子ども達の元気な声による海老沼小学校の紹介を、ぜひお聞きください。

最後になりますが、保護者の皆様、3学期に入り、感染症拡大の不安と心配の中、いつも多大なるご理解とご協力、ご支援をいただき本当にありがとうございました。そして、地域の皆様、いつも海老沼小をあたたく見守り応援していただき、ありがとうございます。お陰様で、3月を迎えることができました。最後まで子ども達をしっかりと見届けてまいります。また、来年度も引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。